

科学研究費助成事業（科学研究費補助金）研究成果報告書

平成 24 年 6 月 1 日現在

機関番号：18001

研究種目：基盤研究（C）

研究期間：2009～2011

課題番号：21520264

研究課題名（和文）オキナワ系アメリカ文学の生成と発展に関する基礎研究

研究課題名（英文）A Preliminary Study of the Creation and Development of Okinawan-American Literature

研究代表者

山里 勝己（YAMAZATO Katsunori）

琉球大学・法文学部・教授

研究者番号：80101450

研究成果の概要（和文）：本研究では、「オキナワ系アメリカ文学の生成と発展についての基礎的研究を行った。いわゆる「本土」系の日系文学はこれまで研究されてきたが、オキナワ系アメリカ人による文学は、本研究が始まるまで研究の対象としてはほとんど取りあげられることはなかった。本研究は、基礎テキストの収集と分析・評価を行うことにより、「オキナワ系アメリカ文学」の全体像を明らかにし、その成果を日系文学、アジア系アメリカ文学等の理解に資し、最終的にはアメリカ文学の枠組みの見直しと、その多様性の理解に資することを試みた。また、「オキナワ系アメリカ文学」作品集の刊行、翻訳による演劇上演など、直に社会に成果を還元することにも本研究は貢献したと考えている。

研究成果の概要（英文）：Studies of “Okinawan-American Literature” were next to non-existent until this study began. By collecting hitherto unknown or little known texts and reading and evaluating them, this study attempted to delineate the outline of “Okinawan-American Literature.” In addition, this study attempted to see how this literature is related to Japanese American literature or Asian American Literature. These attempts led to incorporating hitherto neglected category or perspectives into the larger outline of what is called “American Literature.”

交付決定額

（金額単位：円）

	直接経費	間接経費	合計
2009年度	1,200,000	360,000	1,560,000
2010年度	900,000	270,000	1,170,000
2011年度	1,000,000	300,000	1,300,000
年度			
年度			
総計	3,100,000	930,000	4,030,000

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：文学・英米・英語圏文学

キーワード：アメリカ文学、オキナワ系アメリカ文学

1. 研究開始当初の背景

本研究は、日本においても、米国においても未開拓であった「オキナワ系アメリカ文学」の生成と発展についての基礎的研究を行うことを目的とした。いわゆる「本土」系の日系文学はこれまで活発に研究されてきたが、ハワイやカリフォルニアなどにおけるオキナワ系アメリカ人とその子孫たちによる文学は、本研究が始まるまで研究の対象としてはほとんど取りあげられることはなかった。これは、日系文学のカテゴリーに収まりきれない独特の歴史的、文化的背景を有するオキナワ系アメリカ文学の特徴を示すものと考えられる。また、このような作品群は、アジア系文学としても認知されないままに残されていて、(特に2世)作家の年齢を考慮に入れると資料収集、分析、評価を行い、その意義を研究することが喫緊の課題として残されていた。このような状況を背景として本研究は立案された。

2. 研究の目的

本研究は、具体的には、基礎テキストの収集と分析・評価を行うことにより、「オキナワ系アメリカ文学」の全体像を明らかにし、その成果を関連する日系文学、アジア系アメリカ文学等の理解に資し、最終的にはアメリカ文学の枠組みの見直し、その多様性、多層性の理解に資することを目的として取り組まれた。ジャンル別で言えば、小説、詩、演劇、自伝、日記などがある。本研究では、特に印刷されずに原稿のままで残されている原資料の収集に力を入れることを目的とした。

3. 研究の方法

(1) オキナワ系アメリカ人の典型的なディ

アスポラであるハワイとカリフォルニアにおける資料の発掘・収集を重点課題として取り組んだ。調査先は、ハワイ大学図書館及びそのスペシャルコレクション室等で資料の調査と発掘・複写等を行い、併せて個人所蔵の資料の調査・蒐集を行った。

(2) 調査の際には、ハワイ大学の研究者、オキナワ系コミュニティの協力を得た。

(3) また、北米大陸における中心的なオキナワ系ディアスポラのあるロスアンゼルスとサンフランシスコにおいても調査・資料収集を行い、作家等に対するインタビューも行った。特に作家や研究者の保存する資料をコピーするなど、これまで発掘・研究されていない資料の評価、分析を行った。

4. 研究成果

このような調査を通して、これまで知られていなかった重要なテキスト等の発見・発掘がなされ、分析・評価が進むにつれてオキナワ系アメリカ文学の輪郭が浮かび上がり、重要な作品の蒐集・分析・整理を行うことができた。このような研究により、アジア系アメリカ文学、日系アメリカ文学、そしてアメリカ文学全体がより多様、多彩なものとして理解され、このような既成のカテゴリーの再定義につながるような成果が得られたと考えている。

これが本研究の最も重要な成果であり、「オキナワ系アメリカ文学」はこれからさらに分析され、深化されるべき領域であると考えられる。蒐集した資料や作品の詳細な分析がまだ完全に終了していないが、これらの整理が終了した際にはより具体的な「オキナワ系ア

メロカ文学」の輪郭が描けるようになるものと思われる。

オキナワ系アメリカ文学の1部はすでに *Voices from Okinawa* にみるように、アンソロジーとして編集し、紹介している、まだ収録すべき多くの作品が残されている。このアンソロジーは、ハワイ大学出版局よりオンラインでも講読することができるため、世界的にオキナワ系アメリカ文学を紹介する契機となった。

さらに、ハワイ州マウイ島出身の2世作家ジョン・シロタの戯曲「ラッキー・カム・ハワイ」を翻訳し、作者を招聘して国立劇場沖縄で上演した。これは研究成果を社会に還元し、オキナワ系アメリカ文学の表現のありようを観衆に直に紹介する機会となったことも成果としてあげておきたい。

最終的には、研究論文の執筆だけでなく、作品の翻訳や研究書及び作品集の翻訳による刊行を計画している。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計2件)

1. 山里勝己. 「アメリカをめぐる軌跡—沖繩のアメリカ文学研究」『英文学 on 沖繩シンポジウム報告書』(査読無) 2011年, 1-13頁。

2. Katsunori Yamazato. “Where Am I in This Food Chain?” *IJOS: International Journal of Okinawan Studies*. (査読有) Vol.1, No. 3, 2011, pp. 3-13.

[学会発表] (計2件)

1. Katsunori Yamazato. “A Trajectory of a Nisei Daughter—Reading *The Blending*.” Center for Okinawan Studies, University of Hawaii, March 1, 2012.
2. 山里勝己. 「アメリカをめぐる軌跡—沖繩のアメリカ文学研究」沖繩キリスト教学院大学。2011年1月29日。

[図書] (計5件)

1. 山里勝己編『<移動>のアメリカ文化学』ミネルヴァ書房、2011年、283頁。
2. Katsunori Yamazato and Frank Stewart, eds. *Living Spirit: Literature and Resurgence in Okinawa*. Honolulu: U of Hawaii P, 2011年、282頁。
3. 山里勝己. 「地名の詩学—アメリカの地理表象をめぐる」『風景のアメリカ文化学』ミネルヴァ書房、2011年、19-38頁。
4. 山里勝己. 「コンタクトゾーンとしての戦後沖繩」『沖繩・ハワイ—コンタクトゾーンとしての島嶼』(石原、喜納、山城編)、彩流社、2010年、15-28頁。
5. Katsunori Yamazato and Frank Stewart, eds, *Voices from Okinawa*. U of Hawaii P, 2009年、213頁。(オキナワ系アメリカ文学アンソロジー)。

[産業財産権]

○出願状況 (計0件)

名称:

発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

(3)連携研究者
()

研究者番号：

○取得状況 (計 0 件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年月日：
国内外の別：

[その他]

ホームページ等

[演劇上演] (計 1 件)

ジョン・シロタ作、山里勝己翻訳、幸喜良秀
演出「ラッキー・カム・ハワイ」、国立劇場
おきなわ、2010年12月11-12日。

6. 研究組織

(1) 研究代表者

山里勝己 (YAMAZATO Katsunori)

琉球大学・法文学部・教授

研究者番号：80101450

(2) 研究分担者

()

研究者番号：